

## 7 多彩なライフスタイルの提案

No.	施策名	担当部局名																
68	移住・定住の促進に係る情報発信	くらし・環境部																
<b>【現状】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県への移住の促進に向けて、「ゆとりすと静岡」※及び「だもんで静岡県」※の2つのホームページで情報発信に取り組んでいる。</li> <li>・移住関連イベントや市町が行う相談会や体験ツアーなど、最新の情報を発信できるよう、随時、情報更新を行っている。</li> </ul> <p>※ ゆとりすと静岡：地方移住に関心を持ち、静岡県を候補地と考えている人をターゲットに、地域や市町を絞り込むために必要な情報を網羅的に発信</p> <p>※ だもんで静岡県：より自分らしい生き方、働き方を模索する人ターゲットに、静岡県で実現可能なライフスタイルや魅力的に暮らす人の姿等、地方移住への関心を高め、静岡県に引き込むための情報を発信</p>																		
<b>【課題・目的等】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住検討者の求める情報をわかりやすく提供し、本県移住後の生活を具体的にイメージしてもらえよう、情報発信する必要がある。</li> </ul>																		
<b>【これまでの取組】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ「ゆとりすと静岡」、「だもんで静岡県」では、移住の検討段階に応じた情報提供(暮らし、仕事、住まいなど)をするほか、イベント情報を発信した。</li> <li>・令和3年度に2つのホームページを統合した。今後は、移住に役立つ情報を「ゆとりすと静岡」に集約して発信する。</li> <li>・コロナ禍を受けて開始したオンライン相談等が定着したことから、ホームページ「ゆとりすと静岡」に「オンライン移住相談センター」のページを新設した。</li> <li>・令和3年度に、LINEを開設し、属性や関心に合わせた情報発信を開始した。</li> </ul>																		
<b>【これまでの成果・評価】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「移住相談窓口等を利用した県外からの移住者数」は増加傾向にある。</li> <li>・「ホームページアクセス件数(ページビュー数)」は、令和2年度まで増加傾向にあったが令和3年度は減少した。これは、サイト利用者が必要な情報にダイレクトにアクセスできるよう改修を行ったことが要因で、ページビュー数は減少したがサイト訪問者数は増加している。</li> <li>・移住希望地ランキング(窓口相談)では2年連続第1位となった。</li> </ul>																		
<b>【工程表】</b>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">ターゲットを明確にした情報発信(ゆとりすと静岡・だもんで静岡県)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">ゆとりすと静岡改修</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">SNSで情報発信</td> </tr> </tbody> </table>			2018	2019	2020	2021	ターゲットを明確にした情報発信(ゆとりすと静岡・だもんで静岡県)						ゆとりすと静岡改修				SNSで情報発信	
2018	2019	2020	2021															
ターゲットを明確にした情報発信(ゆとりすと静岡・だもんで静岡県)																		
		ゆとりすと静岡改修																
		SNSで情報発信																

【参考】



【移住・定住情報サイト「ゆとりすと静岡」】



【静岡県移住相談センター 公式LINEアカウント】

## 7 多彩なライフスタイルの提案

No.	施策名	担当部局名												
69	スマホアプリを活用した地球温暖化防止の県民運動	くらし・環境部												
<b>【現状】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の自主的・継続的な地球温暖化防止の行動を促進するため、温暖化防止に係る行動（クールアクション）をした県民に対して抽選で景品が当たるポイントを付与するアプリ「クルポ」の運営を行っている。</li> </ul> <p>※ 実施主体：ふじのくにCOOLチャレンジ実行委員会          県内企業・団体・県・市町・県地球温暖化防止活動推進センターで構成。各主体の連携により、家庭・学校・オフィス等の場において温暖化防止の行動を促進する「県民運動ふじのくにCOOLチャレンジ」を展開。</p>														
<b>【課題・目的等】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素社会の実現に向けては家庭部門についても、県民の直接的な行動を促進することにより、更なる温室効果ガスの削減が必要である。</li> <li>・より多くの県民に、継続的にアプリを使用してもらい、実効性を高める。</li> </ul>														
<b>【これまでの取組】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年6月から温暖化防止アプリ「クルポ」の運営を開始。</li> <li>・参加者の増加と、継続的な利用によるアクション回数増加を図るため、実行委員会委員や各部局等と連携することにより、広報やアクションメニューの拡充、ポイント獲得スポットの増加に取り組んできた。</li> <li>・主なアクションメニュー</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クール/ウォームシェア</td> <td>県市町公共施設（図書館、博物館等）やふじのくに魅力ある個店において、家庭の空調利用を節減するクール/ウォームシェア</td> </tr> <tr> <td>飲食店での食べきり</td> <td>飲食店等で食事を食べきり食品ロスを削減する食べきり</td> </tr> <tr> <td>リサイクルBOXの利用</td> <td>店舗、公共施設等の分別場所で適切なおみ分別</td> </tr> <tr> <td>環境イベントへの参加</td> <td>県市町等が主催する環境イベントや、森づくりイベントに参加</td> </tr> <tr> <td>公共交通機関の利用促進</td> <td>マイカーの利用を低減し、公共交通機関を利用</td> </tr> </tbody> </table>			区分	内容	クール/ウォームシェア	県市町公共施設（図書館、博物館等）やふじのくに魅力ある個店において、家庭の空調利用を節減するクール/ウォームシェア	飲食店での食べきり	飲食店等で食事を食べきり食品ロスを削減する食べきり	リサイクルBOXの利用	店舗、公共施設等の分別場所で適切なおみ分別	環境イベントへの参加	県市町等が主催する環境イベントや、森づくりイベントに参加	公共交通機関の利用促進	マイカーの利用を低減し、公共交通機関を利用
区分	内容													
クール/ウォームシェア	県市町公共施設（図書館、博物館等）やふじのくに魅力ある個店において、家庭の空調利用を節減するクール/ウォームシェア													
飲食店での食べきり	飲食店等で食事を食べきり食品ロスを削減する食べきり													
リサイクルBOXの利用	店舗、公共施設等の分別場所で適切なおみ分別													
環境イベントへの参加	県市町等が主催する環境イベントや、森づくりイベントに参加													
公共交通機関の利用促進	マイカーの利用を低減し、公共交通機関を利用													
<b>【これまでの成果・評価】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組の結果、令和4年3月時点で、参加者数は15,612人、アクション回数は518,723回（H30.6～累計）、229,383回（R3単年度）となり、毎年度参加者数、アクション数とも増加している。</li> <li>・県民の自主的・継続的な地球温暖化防止の行動を促進するため、引続きアプリを活用した取組を推進していく。</li> </ul>														
<b>【工程表】</b>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">実行委員会委員等と連携した広報展開・アクションメニュー拡充</td> </tr> </tbody> </table>			2018	2019	2020	2021	実行委員会委員等と連携した広報展開・アクションメニュー拡充							
2018	2019	2020	2021											
実行委員会委員等と連携した広報展開・アクションメニュー拡充														

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

No.	施策名	担当部局名
70	ソーシャルメディアの活用	知事直轄組織
<b>【現状】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブックページ「静岡未来」は令和3年度4月末で「いいねがあるある。静岡件」に閉鎖統合した。</li> <li>・フェイスブックページ「いいねがあるある静岡県。」（観光政策課、観光振興課との共同運営）で県内観光地や県の特産物などの本県の魅力を県内外に発信している。（2014年6月～）</li> <li>・ツイッター「静岡県庁わかものがかり」を2018年2月に開設。県内大学生を中心とした若年層に「楽しい」「参考になる」県の情報を発信している。</li> <li>・LINE公式アカウント「静岡県」の運用を2020年6月から開始した。登録者の興味関心に合わせてプッシュ型で県政情報を配信している。また、メニュー欄から県ホームページへワンクリックで誘導している。</li> <li>・Instagramアカウント「ふじっぴー【公式】《静岡県イメージキャラクター》」を2020年10月に開設。ふじっぴーを活用し、県の魅力や情報を発信している。</li> </ul>		
<b>【課題・目的等】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存SNSアカウントの定期読者の維持・増加を図る。</li> <li>・情報の発信内容に適したメディアを活用する。</li> <li>・SNSの特徴である双方向でのコミュニケーション</li> </ul>		
<b>【これまでの取組】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各SNSを適宜更新した。</li> <li>・「静岡未来」定期閲覧者数：3,652人（2021年3月末）※令和3年4月末閉鎖統合</li> <li>・「いいねがあるある静岡県。」定期閲覧者数：15,432人（2022年3月末）</li> <li>・「静岡県庁わかものがかり」定期閲覧者数：16,086人（2022年3月末）</li> <li>・「静岡県」定期閲覧者数：44,369人（2022年3月末）</li> <li>・「ふじっぴー【公式】《静岡県イメージキャラクター》」定期閲覧者数：600人（2022年3月末）</li> <li>・広報実務担当者に向けて、SNSの基礎知識と活用ポイントに関する研修を実施。</li> <li>・ツイッターやLINEにより「おしえて！後藤参事」として、新型コロナウイルス感染症に関する県民の疑問にお答えしたり、感染状況やワクチン接種に関する情報を速やかに発信した。</li> </ul>		
<b>【これまでの成果・評価】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツイッターではコメントへの返信や、話題性がある情報を発信して、定期閲覧者との関係構築に努めた。</li> <li>・広報研修で、ツールの特性、自治体の運用事例を紹介し、県職員のSNS運営の技能・知識の向上を図った。</li> <li>・デジタルの持つ双方向性を生かし、県民からのこえに答える情報発信を行った。</li> </ul>		

**【工程表】**

2018	2019	2020	2021
既存SNSの運用（適宜運用）			
発信内容に合ったメディアの活用（適宜運用）			
		こえに答える情報	発信

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

No.	施策名	担当部局名
71	ふじのくにメディアチャンネル等によるネットコンテンツの作成・活用	知事直轄組織
<b>【現状】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくにネットテレビ（R3.11月～ふじのくにメディアチャンネルへ移行）及び民間動画サイトYouTube（ユーチューブ）で、知事記者会見や県政ニュース、職員による業務紹介などの動画を配信している。</li> <li>・本県のような魅力を全国に発信するウェブサイト「ふじのくに魅力発信サイト 痛快！静岡県」を運営している。サイト内では、各部局が運営する、全国向けのホームページ（観光、移住定住、食、富士山等）を紹介している。また「静岡時代」や「すろーかる」「womo」「静岡新聞びぶれ」等の県内雑誌メディアと連携し、各メディアの新着記事のリンクを掲載している。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県を跨いでの移動が制限されているため、コラム欄を除き、ホームページの更新を中止した。</li> </ul>		
<b>【課題・目的等】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の関心分野に合わせたコンテンツを作成する。</li> <li>・閲覧者の増加を図る。</li> </ul>		
<b>【これまでの取組】</b>		
<p>適宜配信、ページ更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくにネットテレビアクセス数：476,904回（2018～2021年度）</li> <li>・ふじのくにメディアチャンネルアクセス数：36,132回（2021年度 ※11月以降）</li> <li>・YouTube視聴回数：7,899,500回（2018～2021年度）</li> <li>・知事記者会見配信回数：131回（2018～2021年度）</li> <li>・県政ニュース配信本数：46本（2018～2021年度）</li> <li>・「痛快！静岡県」アクセス数：991,828PV（2018～2021年度）</li> </ul>		
<b>【これまでの成果・評価】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくにネットテレビは、内容の充実を図り、多くの動画を配信してきた。</li> <li>・「痛快！静岡県」は、各部局が運営する全国向けホームページや県内雑誌メディアへの流入窓口として、サイトの認知度及びアクセス件数の向上に寄与した。</li> <li>・今後は、ふじのくにネットテレビを改修し、ネットの検索が容易で、アクセスしやすくした「ふじのくにメディアチャンネル」において、動画を活用し、県内の魅力を発信していく。「痛快！静岡県」は、令和3年度末で閉鎖した。</li> </ul>		

【工程表】

2018	2019	2020	2021
「ふじのくにネットテレビ」運営（適宜内容充実化）			「ふじのくにメディアチャンネル」運営（適宜内容充実化）
「痛快！静岡県」運営（適宜内容充実化）			

閉鎖

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

No.	施策名	担当部局名																
72	県政インターネットモニター等の実施	知事直轄組織																
<b>【現状】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・即時性のあるインターネットを活用したアンケート調査（県政インターネットモニターアンケート調査）の実施により、県民の意向の速やかな入手に努め、迅速に県政に反映する。</li> <li>・県政に対する県民からの意見を県ホームページや電子メールなど多様な手段により入手することで、県民の意向の速やかな県政への反映を目指している。電話や手紙等に加え、県ホームページの意見投稿フォームや県民のこえ専用の電子メールを設けるなど、県民のこえを受け付ける多様な手段を用意している。</li> </ul>																		
<b>【課題・目的等】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のこえが届いていないと感じられていること（R3県政世論調査結果）への対応（施策への反映をわかりやすく）</li> <li>・モニターの属性に偏りがある（10～20歳台が全体の6%強程度）ことへの対応</li> <li>・調査方法や新たな広聴媒体の検討</li> </ul>																		
<b>【これまでの取組】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県政インターネットモニター調査 モニター人数：770人 アンケート実施回数：16回（2021年度）</li> <li>・広聴事案の受付 一般広聴事案件数：2,329件（2021年度） うちICTによるもの：1,863件（ホームページ：1,623件、メール：240件）</li> </ul>																		
<b>【これまでの成果・評価】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県HPに掲載している調査結果の施策への反映事例等について、媒体等を組み合わせた周知を検討している。</li> <li>・「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」等を通じた、学生へのモニター募集広報を実施した。</li> <li>・アンケート調査実施における募集手段や意見聴取の方法、公表の方法等について随時検討する。</li> <li>・通知文や謝礼の発送について現状維持で取り組んでいた業務の改善を図る。</li> <li>・引き続き県民のこえを受け付ける手段につき、新しいメディアの動向を研究する。</li> </ul>																		
<b>【工程表】</b>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">県政インターネットモニターアンケート実施（毎年度実施・適宜方法検討）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>学生へのモニター募集広報</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">一般広聴受付（適宜実施・新規メディア活用研究）</td> </tr> </tbody> </table>			2018	2019	2020	2021	県政インターネットモニターアンケート実施（毎年度実施・適宜方法検討）						学生へのモニター募集広報		一般広聴受付（適宜実施・新規メディア活用研究）			
2018	2019	2020	2021															
県政インターネットモニターアンケート実施（毎年度実施・適宜方法検討）																		
		学生へのモニター募集広報																
一般広聴受付（適宜実施・新規メディア活用研究）																		



【参考】

令和3年度調査項目の募集

	調査実施回数	募集期間	調査項目 決定時期	調査実施期間
前期アンケート	8回	1月～2月	3月	5月～9月
後期アンケート	8回	7月	8月	9月～1月
年度計	16回	—	—	—

県政インターネットモニターアンケート調査事務の流れ

順 番	時期		広聴広報課	担当課
	前期	後期		
1	3月	8月	調査項目の決定	
2	開始日の3週間前まで			設問原案作成、提出
3	}		内容について協議、設問の校正	
4	開始日の約3日前まで		設問の確定	
5	}		ふじのくに電子申請サービスへ入 力作業	フォーム最終確認
6	アンケート開始日		モニターへメール送信 (アンケート回答依頼)	
7	アンケート回答期間 (2週間)		モニターからの問合せ等対応	
8	アンケート終了後 1週間以内		単純集計作業 電子データを担当課へ送付	
9	アンケート結果送付後 1ヶ月以内			調査結果の分析 結果の報道提供 様式2の作成・提出
1 0	様式2の提出後 速やかに		単純集計結果及び様式2の 内容のホームページ公開	

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

No.	施策名	担当部局名																
73	県公式ホームページでの情報提供	知事直轄組織																
<b>【現状】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県公式ホームページで、基礎的な県政情報や本県の魅力情報を県内外に発信している。</li> <li>・ 例年、ウェブアクセシビリティに関する J I S 規格に基づく試験を実施している。</li> <li>・ 県公式ホームページのシステム・デザイン等が利用しやすくなるよう、適宜、仕様やデザインを修正・改善している。</li> </ul>																		
<b>【課題・目的等】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセシビリティに配慮した分かりやすい情報発信が必要である。</li> <li>・ トップページにバナー等が多数貼られており、ページ数も多く、情報過多である。</li> <li>・ 課ごとにページを作成しているため、利用者にとって情報が探しづらい。</li> <li>・ スマートフォンやタブレットに最適化されていないページが多く、ユーザビリティが低い。</li> </ul>																		
<b>【これまでの取組】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県政情報やイベントの開催情報を県公式ホームページで適宜更新した。</li> <li>・ ウェブアクセシビリティに関する J I S 規格に基づく試験を実施した。</li> <li>・ 令和4年度のホームページリニューアルに向け、課題の調査を実施した。</li> </ul>																		
<b>【これまでの成果・評価】</b>																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブアクセシビリティに関する J I S 規格に基づく試験を実施し、ホームページ全体のアクセシビリティが向上した。</li> <li>・ ホームページ全体が使いやすいものとなるよう、ハード面を所管する電子県庁課と協議しながら、適宜、修正・改善した。</li> <li>・ 令和3年度は、リニューアルに向け更に電子県庁課と連携した取組を行った。</li> </ul>																		
<b>【工程表】</b>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">アクセシビリティ試験の実施（毎年1回）</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ページの仕様・デザインの改善（適宜実施）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>課題調査</td> </tr> </tbody> </table>			2018	2019	2020	2021	アクセシビリティ試験の実施（毎年1回）				ページの仕様・デザインの改善（適宜実施）							課題調査
2018	2019	2020	2021															
アクセシビリティ試験の実施（毎年1回）																		
ページの仕様・デザインの改善（適宜実施）																		
			課題調査															

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

No.	施策名	担当部局名															
74	県ホームページの改善	知事直轄組織															
<b>【現状】</b>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウェブアクセシビリティ方針」を策定しユニバーサルデザイン※に配慮したホームページの作成など、効果的で分かりやすい情報提供を進めている。</li> <li>・県ホームページは、デザインや機能に統一性を持たせるとともに、音声読み上げソフトへの対応を図るなど、高齢者や障害者の方にも利用しやすいサイトになっており、アクセシビリティへの配慮に努めている。</li> <li>・ホームページ担当者を対象に、ウェブアクセシビリティについて、研修を行っている。(年1回)</li> <li>・主要なページについては、J I S規格(日本産業規格)のAAに準拠していることを証明する「ウェブアクセシビリティ試験」を実施し、結果を公表している。</li> </ul> <p>※ユニバーサルデザイン：身体や年齢、性別、国籍などの差異に関わらず、誰もが等しく利用できるようにすること</p>																	
<b>【課題・目的等】</b>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウェブアクセシビリティ」に関して周知不足の面があることから、より一層の周知・啓発を図る必要がある。</li> </ul>																	
<b>【これまでの取組】</b>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年1回、ウェブアクセシビリティ試験を実施した。結果は下表のとおり。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>96ページ</td> <td>109ページ</td> <td>90ページ</td> <td>103ページ</td> </tr> <tr> <td>検査結果</td> <td>全ページ 適合レベルAA</td> <td>全ページ 適合レベルAA</td> <td>全ページ 適合レベルAA</td> <td>全ページ 適合レベルAA</td> </tr> </tbody> </table>			実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	ページ数	96ページ	109ページ	90ページ	103ページ	検査結果	全ページ 適合レベルAA	全ページ 適合レベルAA	全ページ 適合レベルAA	全ページ 適合レベルAA
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度													
ページ数	96ページ	109ページ	90ページ	103ページ													
検査結果	全ページ 適合レベルAA	全ページ 適合レベルAA	全ページ 適合レベルAA	全ページ 適合レベルAA													
<b>【これまでの成果・評価】</b>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウェブアクセシビリティ」に関しては、研修等による周知・啓発により、十分に配慮したページ作りが行われるようになった。試験結果も良好である。</li> <li>・しかし、本県ホームページは平成8年に公開されてから、大規模なリニューアルがないまま現在に至るため、利用者から「トップページが見にくい」、「知りたい情報がどこにあるか分からない」といった意見を頂いている。これらを改善するため、広聴広報課と連携し、令和4年度にホームページリニューアルを実施する予定である。</li> </ul>																	
<b>【工程表】</b>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセシビリティ試験の実施</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">▶</td> </tr> <tr> <td>試験対象の全てのページでJ I S規格準拠を維持</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">▶</td> </tr> </tbody> </table>				2018	2019	2020	2021	アクセシビリティ試験の実施	▶				試験対象の全てのページでJ I S規格準拠を維持	▶			
	2018	2019	2020	2021													
アクセシビリティ試験の実施	▶																
試験対象の全てのページでJ I S規格準拠を維持	▶																

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

No.	施策名	担当部局名												
75	文化施設等のデジタル化・安全安心対策	スポーツ・文化観光部												
<b>【現状】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により令和2年4～5月に県有文化施設の臨時休館を実施した。その後、赤外線カメラによる体温確認や手指消毒、展覧会の入場制限などの新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で開館している。</li> <li>・県立美術館の企画展では、入場制限によって入場待ちが多数生じることがある。</li> </ul>														
<b>【課題・目的等】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設では、ガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、開館しているが、鑑賞におけるデジタル手続きを早急に導入し、より安全安心な鑑賞環境づくりを進める必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、県民が文化芸術に触れる機会が失われたため、Web上で文化資源に触れられるコンテンツを充実させることで、機会回復を図るほか、文化施設への来館を促進していく。</li> </ul>														
<b>【これまでの取組】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時休館を終えた後は、入館時の赤外線カメラによる体温確認や手指消毒の実施などの新型コロナウイルス感染症対策をした上で開館している。</li> <li>・特に来館者が多く訪れる県立美術館の企画展においては、整理券の配布による入場制限を実施して、会場内の密を避けている。</li> </ul>														
<b>【これまでの成果・評価】</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設で、収蔵品などを活用したデジタルコンテンツをそれぞれ作成し、サイト閲覧を通じた来館促進や文化芸術に触れる機会の拡充につなげた。(447点を新たにデジタル化し、既存デジタルデータと合わせて2,935作品をHPへ掲載)</li> <li>・また、各施設に事前予約システムを導入し、来館者数をコントロールするとともに、鑑賞したい時間での鑑賞を保證することで来館者の満足度向上、団体予約管理の効率化を図った。</li> <li>・さらに、ふじのくに地球環境史ミュージアムにスマホ式音声ガイドを導入し、館内説明パネル付近の密集を避けた鑑賞方法を推進した。</li> <li>・各施設においてキャッシュレス決済を順次導入し、来館者の利便性向上や感染症対策としての現金手渡し機会減少、現金管理の簡素化を図った。</li> </ul>														
<b>【工程表】</b>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     事前予約システム、音声ガイド等導入、デジタルコンテンツの拡充                 </div> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     キャッシュレス決済の導入                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			2018	2019	2020	2021			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     事前予約システム、音声ガイド等導入、デジタルコンテンツの拡充                 </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     キャッシュレス決済の導入                 </div>	
2018	2019	2020	2021											
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     事前予約システム、音声ガイド等導入、デジタルコンテンツの拡充                 </div>												
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     キャッシュレス決済の導入                 </div>												

【参考】



体温確認・手指消毒



事前予約システムの導入



デジタルコンテンツとして3Dで公開

ふじのくに地球環境史ミュージアム  
Fujinochi Earth and Environmental History Museum

ふじのくに地球環境史ミュージアムは、  
富士山をはじめとした地域の豊かな自然を背景として、  
世界的な地球環境の未来を展望する  
「ふじのくに」の新しい国立博物館です。

太古から続く  
自然の歴史を聴く!  
AUDIO GUIDE

もっと知りたい!  
聞きたい!  
ミュージアムをより楽しくする  
無料音声ガイドを  
導入しました。

スマホ1つでいつでも簡単に、<思考を拓く>音声ガイド  
お客様どうしの安心安全な聴取を確保しながら、ふじミュージアムを楽しんでいただくために音声ガイドを導入しました。展示の魅力を感じられる音声ガイドを、すべての展示場亦立でご利用いただけます。  
(日本語、英語、中国語、韓国語対応)

ボイスアクトー 宮城崎 遼加  
2016年、博物館教育の分野で最先端を走り続ける  
博物館のデジタルコンテンツの導入を推進して  
2017年、ふじのくに地球環境史ミュージアム  
のデジタルコンテンツの導入を推進して  
2018年、ふじのくに地球環境史ミュージアム  
のデジタルコンテンツの導入を推進して  
2019年、ふじのくに地球環境史ミュージアム  
のデジタルコンテンツの導入を推進して

音声ガイドの導入

## 9 世界の人々との交流の拡大

No.	施策名	担当部局名																	
76	外国人が無料で利用できるWi-Fi整備の促進	スポーツ・文化観光部																	
<b>【現状】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人旅行者のニーズが高い無料Wi-Fi環境の整備を進めていくため、山梨県及び神奈川県との連携による産官民協働の推進体制となる「Fujisan Free Wi-Fiプロジェクト」を2013年に立ち上げ、通信事業者と連携し、観光施設や商業施設への無料Wi-Fiスポット設置を促進した結果、県内に4,303のスポットが設置された。</li> <li>観光地における回遊ルート上の通信環境の整備を加速させるため、国の補助制度と連動させながら、無料Wi-Fi環境の面的整備を進める市町等に対し県費助成を行っており、これまでに3地区を整備した。</li> </ul>																			
<b>【課題・目的等】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設・宿泊施設への更なるWi-Fiスポットの設置を促進するほか、外国人観光客の利便性向上を図るため、Wi-Fi利用開始手続きの簡素化、統一化を進めていく必要がある。</li> </ul>																			
<b>【これまでの取組】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>通信事業者と連携した啓発活動や、施設等への協力要請を行うなど、「Fujisan Free Wi-Fiプロジェクト」の取組の充実を図った。</li> <li>観光地域づくり整備事業の活用等によりWi-Fi環境の面的整備を進めた。</li> </ul>																			
<b>【これまでの成果・評価】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>通信事業者と連携し、富士山の開山期間における無料Wi-Fiサービス提供事業として、五合目から山頂までの山小屋等計28か所に無料のアクセスポイントを設置し、富士山の開山期間において外国人旅行者をはじめとした登山者等の利便性の向上に寄与した。</li> </ul>																			
<b>【工程表】</b>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">Wi-Fiスポット拡大に向けた観光施設等への働きかけなど</td> </tr> <tr> <td colspan="4">新制度に基づく市町等への助成</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> </td> </tr> </tbody> </table>				2018	2019	2020	2021	Wi-Fiスポット拡大に向けた観光施設等への働きかけなど				新制度に基づく市町等への助成							
2018	2019	2020	2021																
Wi-Fiスポット拡大に向けた観光施設等への働きかけなど																			
新制度に基づく市町等への助成																			

## 9 世界の人々との交流の拡大

No.	施策名	担当部局名
77	観光デジタル情報プラットフォームの構築・運用	スポーツ・文化観光部
<b>【現状】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光庁調査（※1）によると、訪日外国人の旅行形態における個人旅行の比率が83.1%（2019）となっており、個人旅行化が進展している。</li> <li>・静岡県立大学が実施したアンケート（※2）によると、本県訪問にあたり、観光情報をインターネットで入手したとの回答が73.9%であり、情報収集源はインターネットが主流となっている。</li> <li>・市町やDMO、観光事業者のウェブサイトは連携が図られていないため不便であり、県調査（※3）によると、滞在中の旅行情報収集について「大変満足」と答えた割合が25.8%（R1）と、他の満足度に比べて低くなっている。</li> </ul> <p>※1：「訪日外国人消費動向調査」            ※2：「ラグビーワールドカップの開催地である静岡県エコパスタジアムにて実施した外国人観光客向けアンケート結果」            ※3：「静岡県における観光の流動実態と満足度調査」</p>		
<b>【課題・目的等】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人旅行者に情報が直接的に届くための情報発信方法を検討する必要がある。</li> <li>・地域の強みの整理やマーケティングに基づいたデータの分析・活用が不十分であるとともに、観光事業者以外の地域の巻き込みなどが欠けている。</li> <li>・以上の課題に対応するため、観光デジタル情報プラットフォームを構築・活用し、データの提供・有効活用を促し、地域全体の魅力向上を図る。</li> </ul>		
<b>【これまでの取組】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォームに具備する機能の整理や県内の観光施設情報に関する調査（サイト数、掲載内容等）を実施した。</li> <li>・令和2年度においてプラットフォームを構築し、旅行者への観光情報の提供と操作ログ等のデータ収集を行う観光情報アプリ（TIPS）の開発及びウェブサイト（ハローナビしずおか）の改修を行った。</li> <li>・令和3年度において、プラットフォーム及び観光情報アプリの運用を開始し、利便性向上に向けたバージョンアップを行った。</li> <li>・浜名湖周辺において、顔認証決済実証事業を実施した（令和3年3月12日～29日、令和3年4月28日～8月31日）。</li> <li>・市町やDMO、観光事業者によるデジタルマーケティングの実施を促すため、データサイエンティストによるデータ分析セミナーを開催した（令和4年2月21日）。</li> </ul>		
<b>【これまでの成果・評価】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォームに登録された観光関連データ数は、合計で約1万件となった。</li> <li>・これらの観光データを基に、観光情報アプリ上で利用者の周辺にあるおすすめ施設の紹介機能を搭載するなど、利便性向上を行っている。</li> <li>・令和3年度末には、県有の文化観光施設とプラットフォームとの連携を開始するな</li> </ul>		

- ど、連携先の拡大を図っている。
- ・ 今後は、コロナ終息後の国内外の観光需要の回復にも対応できるよう更なる利便性向上を図るとともに、利用者の操作ログ等のデータを活用した観光業におけるデジタルマーケティングへの活用を本格化させる。

**【工程表】**

2018	2019	2020	2021
		データ利活用基盤や観光情報アプリ等の構築・運用保守	運営協議会の設立による観光データの収集  データ利活用のためのデータ分析機関の発掘・登用



【参考】

＜観光デジタル情報プラットフォームのイメージ＞



## (2) その他の施策・取組

No.	施策・取組	概要	部局
1	地域外交に係る国内外の最新情報の発信（地域外交チャンネルの実施）	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外に展開する県内企業、インバウンドを受け入れる観光事業者、国際交流に関係する方々に対し、地域外交課が有するネットワークを活用して講師を招き、新型コロナウイルス感染症により変化している国内外の最新情報をオンラインにより発信する。</li> <li>発信情報はYouTube上でも閲覧可能とし、県民や県内企業の今後の事業展開、海外交流の促進に寄与する。</li> </ul>	知事直轄組織
2	個人情報保護対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県における個人情報の適正な取扱いを確保するため、静岡県個人情報保護条例及び各種規程の整備、職員向け研修会の開催などを行う。</li> </ul>	経営管理部
3	文書管理システムの改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書管理システムを令和3年度に改修した。</li> <li>モバイルパソコンの導入に併せて電子決裁を進め、文書の検索の迅速化や紙文書量の削減につながる文書事務の電子化を推進する。</li> </ul>	経営管理部
4	公共施設情報のオープンデータ化	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通フォーマットで整理した公共施設に関する情報を、「ふじのくにオープンデータカタログ（県サイト）」にオープンデータとして登録（掲載）することで共有を図る。</li> </ul>	経営管理部
5	携帯電話の地理的情報格差の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理的な条件不利地域において、携帯電話等の無線通信が行えない状態の解消を図るため、携帯電話等の基地局施設を整備する市町を支援する。（国庫補助事業）</li> </ul>	知事直轄組織
6	くらしのオープンデータ利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイボトルが使える静岡のお店、ふじのくにエコショップ宣言店、食べきり協力店の店舗情報や、静岡県リサイクル認定製品の製品情報を電子データで提供する。</li> </ul>	くらし・環境部
7	大気汚染物質の常時監視データ等の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内67か所の大気汚染常時監視測定局で測定したデータを、リアルタイムでホームページに掲載するとともに、光化学オキシダント等大気汚染物質が高濃度となった際は、注意報等を発令し、県民への注意喚起を行う。</li> </ul>	くらし・環境部
8	遠隔授業の促進、ふじのくに地域・大学コンソーシアムのHPによる情報発信等	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立大学、文化芸術大学における講義や社会人講座、ふじのくに地域・大学コンソーシアムにおける単位互換講義などにおいて、オンラインを活用した授業を行った。</li> <li>ふじのくに地域・大学コンソーシアムのホームページ及びFacebookに、県内大学等が行う公開講座やフォーラムなどの情報を掲載し県民に提供した。</li> </ul>	スポーツ・文化観光部
9	文化資源による地域活性化の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な文化資源の価値に対する人々の認識を高めるとともに、地域の文化活動の活性化に寄与するため、文化資源やイベント等について、データベースとして県や（公財）静岡県文化財団のホームページで情報提供した。</li> </ul>	スポーツ・文化観光部
10	富士山の顕著な普遍的価値等の情報発信、利用者負担のキャッシュレス化検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士山来訪者に対する効果的な情報提供戦略の一環として、「静岡県世界遺産富士山公式サイト」を運営する。</li> <li>「富士山保全協力金」について、登山道入口等における現地受付で、キャッシュレス導入を行った。</li> </ul>	スポーツ・文化観光部
11	空港基本情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士山静岡空港の就航路線やフライトスケジュール、アクセスなど、基本情報を発信する。</li> <li>就航地先の魅力を発信する特設WEBサイト（動画・ツアー情報等）の開設及び周遊モデルコース等の掲載・協賛店で利用できるクーポンブック（WEB版）による発信により空港の魅力向上を図る。</li> </ul>	スポーツ・文化観光部
12	空港アクセスのMaaS及びキャッシュレス化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港MaaSとして空港アクセス静岡線（バス）がIzuko（MaaS）フェーズ3の実証実験に参加し、利便性向上を図った。</li> <li>乗合タクシー（補助事業）の利用者の精算方法として、現金のみからPayPayを導入し、キャッシュレス化を推進した。</li> </ul>	スポーツ・文化観光部
13	災害情報配信サービス（レスキューナウ）等による災害情報の配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚、視覚に障害のある人を対象に、災害時における円滑な情報提供を目的として、携帯電話メール機能を利用した「災害情報配信サービス（レスキューナウ）」により災害情報を配信している。</li> </ul>	健康福祉部
14	ふじのくに地域医療支援センターホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師確保対策の充実・強化を図るため、「ふじのくに地域医療支援センター」を設置</li> <li>センターホームページで本県の地域医療に係る情報を発信することにより、医学修学研修資金被貸与者を中心に、将来の本県の医療を支える志を持つ医学生の育成を行っている。</li> </ul>	健康福祉部

No.	施策・取組	概要	部局
15	「ふじさんっこ☆子育てナビ」の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関する質問（保育所情報や子どものしつけに関する悩み等）にポータルサイト上でAIがメッセージに反応し、サイト内の関連ページを案内するサービスを開始。</li> </ul>	健康福祉部
16	G I Sを活用した荒廃農地情報等の見える化による農地集積促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>荒廃農地、貸出意向農地、担い手の耕作地等をG I Sを活用して可視化することにより、荒廃農地の担い手への集積・集約化を促進する。</li> <li>市町が大規模経営体の誘致の意向を示している農地についてG I S上で可視化し、県内外の大規模経営体とのマッチングに活用する。</li> </ul>	経済産業部
17	静岡県電子入札共同利用者協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内全市町が参加する「静岡県電子入札共同利用者協議会」が平成16年度に設立され、公共事業関連（工事及び関連業務）入札を対象に、県と市町が電子入札システムの共同利用を拡大している。令和3年度末で23市8町3団体が運用している。</li> </ul>	交通基盤部
18	防災、災害情報の共有（リアルタイム防災気象情報の共有）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「静岡県土木総合防災情報システム（S I P O S）」では、雨量・水位情報のほか、気象情報、防災情報及びライブカメラ映像などの情報提供を行っている。また、これらの情報はウェブサイト「サイポスレーダー」で県民にも提供している。</li> </ul>	交通基盤部
19	道路通行規制情報の提供（情報提供手段の多様化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>県が管理する道路について、交通情報の収集・提供機能を備えた「道路通行規制情報管理提供システム」を運用しウェブ上で公開している。規制情報は政令市、県道路公社とも共用しているほか、国のシステムとも連携を図り、情報提供している。</li> </ul>	交通基盤部
20	社会教育の情報化（総合教育センターと県立中央図書館を中心とした社会教育環境整備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習（静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」）、家庭教育に関する情報提供等にI C Tを活用するとともに、内容の充実を図ることで、より効果的な情報発信・情報共有を進める。</li> <li>情報化社会にふさわしい図書館サービス実現のため、デジタルライブラリー「ふじのくにアーカイブ」の充実、オンラインデータベースの利用促進、県内図書館横断検索システムの運用を行う。</li> <li>新たな県立中央図書館の整備について、ネット時代の学びに対応するため、情報機器や什器を豊富に備え、電子と紙の情報源を自由に使った多様な学びを行えるスペースの整備を目指す。</li> </ul>	教育委員会
21	交通事故マップ（インターネットを通じた提供・分析）	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の発生状況及び犯罪等発生情報を地図上に示し、これらをインターネットを通じて県民や各行政機関等に提供することで、交通事故又は犯罪の発生実態について理解を促し、交通安全・防犯意識の高揚を図っている。</li> <li>利用者がより検索しやすいよう掲載ページのレイアウトを変更し、カテゴリー名のラベルをカラフルに色分けして項目名を大きく表示した。</li> <li>交通事故マップの使い方ガイドの説明動画を交通事故マップのリンク付近に張り付けておくことで、交通事故マップ活用方法をわかりやすく表示している。</li> </ul>	警察本部
22	治安・防犯の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民にとって有益と考えられる犯罪・防犯情報を県警ホームページにタイムリーに掲載し、地域の安心・安全の確立を図る。</li> <li>「エスピーくん安心メール」「T w i t t e r」「Y a h o o ! 防災速報」等により、不審者情報や身近な犯罪発生情報などを配信し、地域の安全・安心の確立を図る。</li> </ul>	警察本部
23	犯罪情報のオープンデータ化	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民データ活用推進のため、H30、R元、R2の犯罪情報をオープンデータ化し、静岡県オープンデータカタログ、県警ホームページへ掲載した。</li> </ul>	警察本部

## 第2 主要施策の数値目標と進捗状況

政策分野別の主要施策のうち、数値目標があるものについて、目標値や進捗状況等を整理

No.	施策・取組	成果指標 取組指標	基準値	H30実績	R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	2021年目標値	進捗	部局
1 デジタル行政の推進										
1	地域におけるデータ利活用に係る規程の整備	県の保有するデータのうち特に利用価値が高いとされるパーソナルデータを加工提供するために必要な条例、規則、要綱等の整備を行う。	(2016年度) 未整備	(2018年度) 未整備	(2019年度) 未整備	(2020年度) 未整備	(2021年度) 未整備	必要な時期までに整備	—	経営管理部
2	コンビニ交付サービスの導入支援	コンビニ交付サービス導入市町数	(2017年度) 20市町	(2018年度) 26市町	(2019年度) 29市町	(2020年度) 30市町	(2021年度) 31市町	32市町	○	経営管理部
		市町に向けた説明会等情報提供回数	(2017年度) 2回/年	(2018年度) 2回/年	(2019年度) 2回/年	(2020年度) 2回/年	(2021年度) 3回/年	2回/年	◎	
3	マイナンバーカードの出張申請受付方式等の導入支援	マイナンバーカードの交付率	(2017年度) 全国平均以下	(2018年度) 全国平均以下 県:11.2%(17位) 全国平均:12.2%	(2019年度) 全国平均以下 県:14.3%(19位) 全国平均:15.5%	(2020年度) 全国平均以下 県:26.2%(14位) 全国平均:26.3%	(2021年度) 全国平均以上 県:42.9%(13位) 全国平均:42.4%	全国平均以上	◎	経営管理部
		市町に向けた説明会等情報提供回数	(2017年度) 2回/年	(2018年度) 2回/年	(2019年度) 4回/年	(2020年度) 5回/年	(2021年度) 5回/年	2回/年	◎	
4	マイキープラットフォームの利活用に向けた取組	市内・市町向けの説明会、成功事例等の情報提供、個別相談の実施回数	(2017年度) 4回/年	(2018年度) 9回/年	(2019年度) 9回/年	(2020年度) 7回/年	(2021年度) 6回/年	6回/年	○	知事直轄組織・経営管理部
5	オープンデータの推進	オープンデータカタログサイト公開データの利用件数	(2017年度) 30千件/年	(2018年度) 247千件/年	(2019年度) 2,610千件/年	(2020年度) 11,295千件/年	(2021年度) 17,237千件/年	926千件/年以上	◎	知事直轄組織
		国の示す推奨データセットについて、県及び県内市町において公開されたデータセット数	(2017年度) 0セット	(2018年度) 39セット	(2019年度) 77セット	(2020年度) 138セット	(2021年度) 164セット	504セット	▲	
6	超高速ブロードバンドの整備促進	超高速ブロードバンド世帯普及率	(2017年6月末) 61.6%	(2018年3月末) 63.2%	(2019年3月末) 66.5%	(2020年3月末) 69.2%	(2021年3月末) 72.5%	66.0%	○	知事直轄組織
		超高速ブロードバンド世帯カバー率	(2017年度) 98.3%	(2018年度) 98.7%	(2019年度) 99.1%	(2020年度) 98.9%	(2020年度) 99.9% (見込み)	(2019年度) 98.8%	○	
7	民産学官連携によるICT利活用イノベーション	県が主催・共催または発案により実施したICTに関する民産学官連携の共同研究やワークショップの件数	(2017年度) 4件/年	(2018年度) 7件/年	(2019年度) 6件/年	(2020年度) 2件/年	(2021年度) 7件/年	7件/年	○	知事直轄組織
8	県内市町の自治体クラウドの促進	自治体クラウドに関する講演会、グループ討議、市町訪問等の実施回数	(2016年度) 11回/年	(2018年度) 11回/年	(2019年度) 13回/年	(2020年度) 4回/年	(2021年度) 4回/年	15回/年	▲	知事直轄組織
		6時間以上ネットワークを停止させた障害の発生件数	(2016年度) 0件	(2018年度) 0件	(2019年度) 0件	(2020年度) 0件	(2020年度) 0件	0件	◎	知事直轄組織
9	地域WANの運用と活用	個人情報漏洩等の重要情報セキュリティインシデントの発生件数	(2016年度) 0件	(2018年度) 0件	(2019年度) 0件	(2020年度) 0件	(2021年度) 2件	0件	▲	知事直轄組織
		情報セキュリティ研修等を受講した職員数	(2017年度) 217人/年	(2018年度) 206人/年	(2019年度) 259人/年	(2020年度) 392人	(2021年度) 825人/年	600人/年	◎	
11	県庁情報システム最適化の推進	情報システム開発・運用に係る案件審査の実施率	(2016年度) 100%	(2018年度) 100%	(2019年度) 100%	(2020年度) 100%	(2021年度) 100%	100%	◎	知事直轄組織
12	申請・届出等手続のオンライン化の推進	県民等による電子申請システム利用件数	(2016年度) 46,542件	(2018年度) 65,057件	(2019年度) 73,039件	(2020年度) 104,306件	(2021年度) 153,322件	70,000件	◎	知事直轄組織
		オンラインで利用可能な手続数	(2016年度) 200件	(2018年度) 756件	(2019年度) 936件	(2020年度) 982件	(2021年度) 1,420件	当初:400件 R1見直し:800件 R2見直し:960件	◎	
14	県行政の効率化・高価値化の推進	ICTを活用し、新たに効率化や高価値化を進めた取組数	—	(2018年度) 15件	(2019年度) 累計29件 【年14件】	(2020年度) 累計45件 【年16件】	(2021年度) 累計61件 【年16件】	(2018~2021年度) 累計20件以上	◎	知事直轄組織
		ICT（IoT、AI等）の利活用を促進する説明会等の実施数	(2016年度) 5件/年	(2018年度) 15件/年	(2019年度) 11件/年	(2020年度) 9件/年	(2021年度) 17件/年	10件/年	◎	
15	統計データのオープンデータ化の推進	「統計センターしずおか」のアクセス件数	(2016年度) 878千件/年	(2018年度) 817千件	(2019年度) 802千件/年	(2020年度) 736千件/年	(2021年度) 921千件/年	1,000千件/年	○	知事直轄組織
		統計センターしずおかに新規に掲載する統計データの二次利用可能な形式での登録率	(2016年度) 90%	(2018年度) 96.3%	(2019年度) 94%	(2020年度) 100%	(2021年度) 100%	100%	○	
17	静岡県地理情報システムの利活用促進	(1)各部署におけるGISを活用した業務改善の数 (2)公開版GISのアクセス数 (月平均)	(1)(2017年度) 累計4件 (2)(2017年度) 月平均 58.8千件	(1)(2018年度) 累計17件 (2)(2018年度) 月平均 54.6千件	(1)(2019年度) 累計17件 (2)(2019年度) 月平均 55.0千件	(1)(2020年度) 累計23件 (2)(2020年度) 月平均 55.4千件	(1)(2021年度) 累計23件 (2)(2021年度) 月平均 59.0千件	(1)累計10件 (2)月平均 100千件/年	▲	交通基盤部
		(1)市内版GISの地図コンテンツ数 (2)公開版GISの地図コンテンツ数	(1)(2017年度) 累計39件 (2)(2017年度) 累計29件	(1)(2018年度) 累計54件 (2)(2018年度) 累計72件	(1)(2019年度) 累計64件 (2)(2019年度) 累計73件	(1)(2020年度) 累計59件 (2)(2020年度) 累計68件	(1)(2021年度) 累計59件 (2)(2021年度) 累計70件	(1)累計50件 (2)累計35件	◎	

No.	施策・取組	成果指標 取組指標	基準値	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	2021年目標値	進捗	部局
<b>2 命を守る安全な地域づくり</b>										
18	全国瞬時警報システム（Jアラート）の新型受信機への更新	Jアラートによる迅速かつ確実な情報伝達の実施	(2017年度) 35市町	(2018年度) 35市町	(2019年度) 35市町	(2020年度) 35市町	(2021年度) 35市町	35市町	○	危機管理部
		新型受信機への更新を行った市町	(2017年度) 0市町	(2018年度) 35市町	(2019年度) 35市町	(2020年度) 35市町	(2021年度) 35市町	35市町	○	
20	静岡県防災情報システムの整備	県と市町のテレビ会議の実施	(2017年度) 0回/年	(2018年度) 0回/年	(2019年度) 0回	(2020年度) 12回	(2021年度) 21回	1回以上/年	◎	危機管理部
		市町や防災関係機関との映像情報の共有化	(2016年度) 0機関	(2018年度) 0機関	(2019年度) 0機関	(2020年度) 50機関	(2021年度) 50機関	50機関	○	
23	災害情報見える化システム構築	システムを活用したISUT連携訓練の実施回数	(2019年度) 0回/年	-	-	(2020年度) 0回	(2021年度) 2回	2回/年	○	危機管理部
		-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>3 安心して暮らせる医療・福祉の充実</b>										
28	科学的知見に基づく健康施策の推進 ①医療ビッグデータの分析・活用	-	-	-	-	-	-	-	-	健康福祉部
		分析を行った県内の医療関係データ数	(2017年度) 67.7万人分	(2018年度) 68.5万人分	(2019年度) 69.7万人分	(2020年度) 70.8万人分	(2021年度) 71.8万人分	90万人分	▲	
35	若年層に重点を置いた自殺対策の推進	自殺による死亡者数	(2016年) 602人	(2017年) 588人	(2018年) 586人	(2019年) 564人	(2020年) 583人	500人未満	▲	健康福祉部
		-	-	-	-	-	-	-	-	
38	医療連携カルテ閲覧システム	ユーザー登録数（医師・歯科医師、薬剤師、看護師）	(2017年度) 194人	(2018年度) 197人	(2019年度) 199人	(2020年度) 201人	(2021年度) 202人	300人	▲	がんセンター局
		閲覧運用対象者数	(2017年度) 157人	(2018年度) 232人	(2019年度) 299人	(2020年度) 361人	(2021年度) 405人	300人	◎	
<b>4 子どもが健やかに学び育つ社会の形成</b>										
40	学力向上や教育課題の解消に向けたICT教育	授業中にICTを活用して指導できる教員の割合	(2016年度) 64.9%	(2017年度) 71.6%	(2018年度) 64.9%	(2019年度) 64.8%	(2020年度) 65.7%	当初:85% R2見直し:75%	▲	教育委員会
		日常的に授業でICTを活用した学校の割合	(2016年度) 62.7%	(2018年度) 72.6%	(2019年度) 91.8%	(2020年度) 94.1%	(2021年度) 95.6%	80%	◎	
42	情報モラルの育成	情報モラル等を指導できる教員の割合	(2018年度) 77.6%	(2017年度) 76.5%	(2018年度) 77.6%	(2020年度) 81.8%	(2021年度) 89.8%	85%	○	教育委員会
		情報モラルに関する教育活動を実施した学校の割合	(2016年度) 99.7%	(2018年度) 99.8%	(2019年度) 99.8%	(2020年度) 99.4%	(2021年度) 99.8%	100%	○	
<b>5 誰もが活躍できる社会の実現</b>										
44	ICTエキスパートの派遣	-	-	-	-	-	-	-	-	知事直轄組織
		ICTエキスパートを派遣した回数	(2016年度) 26回/年	(2018年度) 22回/年	(2019年度) 37回/年	(2020年度) 43回/年	(2021年度) 59回/年	30回/年	◎	
46	技術専門学校における情報産業分野の人材育成	沼津技術専門学校情報技術科修生の情報産業分野への就職率	(2016年度) 100%	(2018年度) 100%	(2019年度) 100%	(2020年度) 100%	(2021年度) 100%	100%	○	経済産業部
		沼津技術専門学校情報技術科、工科短期大学校沼津キャンパス情報技術科の定員充足率	(2016年度) 100%	(2018年度) 90%	(2019年度) 75%	(2020年度) 85%	(2021年度) 100%	100%	○	
48	RFIDを利用した蔵書管理の推進	利用者アンケートの満足度	(2016年度) 78.6%	-	-	(2020年度) 85.1%	(2021年度) 83.6%	85%	○	教育委員会
		RFIDで管理できる蔵書数	(2016年度) 累計0冊	(2018年度) 累計0冊	(2019年度) 累計0冊	(2020年度) 0冊	(2021年度) 0冊	累計800千冊	-	
49	Webアクセシビリティ確保のための環境整備等	利用者アンケートの満足度	(2016年度) 89.9%	-	(2019年度) 86.0%	(2020年度) 83.2%	(2021年度) 78.8%	95%	▲	教育委員会
		県立図書館Webサイトのアクセス件数	(2016年度) 16,843千件/年	(2017年度) 18,290千件/年	(2019年度) 17,679千件/年	(2020年度) 21,752千件/年	(2021年度) 24,093千件/年	当初: 17,000千件/年 R1見直し: 19,000千件/年	◎	
<b>6 富をつくる産業の展開</b>										
56	先端技術を取り入れた農食連携ビジネスの促進	AOIプロジェクト事業化件数	-	(2018年度) 1件	(2019年度) 累計7件【年6件】	(2020年度) 累計22件【年15件】	(2021年度) 累計23件【年1件】	累計22件	○	経済産業部
		AOIフォーラム参加会員数	(2017年度まで) 累計118会員	(2018年度) 累計170会員【年52会員】	(2019年度) 累計214会員【年44会員】	(2020年度) 累計241会員【年27会員】	(2021年度) 累計270会員【年29会員】	200会員	◎	
66	3次元点群データの活用促進（仮称）Virtual Shizuoka構想	静岡県点群データを活用して開発されたサービス（システム）数	(2017年度) 累計0件	(2018年度) 累計1件【年1件】	(2019年度) 累計1件【年0件】	(2020年度) 累計3件【年2件】	(2021年度) 累計5件【年2件】	累計5件	○	交通基盤部
		-	-	-	-	-	-	-	-	
67	建設現場におけるICT活用推進（R1新規）	ICTを導入した建設企業数（県発注工事受注企業）	(2016年度) 累計12社	-	(2019年度) 累計120社	(2020年度) 累計179社【年59社】	(2021年度) 累計211社【年32社】	(2021年度) 累計100社	◎	交通基盤部
		-	-	-	-	-	-	-	-	

No.	施策・取組	成果指標 取組指標	基準値	H30実績	R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	2021年目標値	進捗	部局
7 多彩なライフスタイルの提案										
68	移住・定住の促進に係る情報発信	移住相談窓口等を利用した県外からの移住者数	(2014～2016年度)累計1,276人	(2018年度)1,291人	(2019年度)1,283人	(2020年度)1,398人/年	(2021年度)1,868人/年	当初：累計3,200人 R2見直し：1,450人/年	◎	くらし・環境部
		ホームページアクセス件数	(2016年度)507千件/年	(2018年度)694千件/年	(2019年度)769千件/年	(2020年度)978千件/年	(2021年度)669千件/年	当初：570千件/年 R1見直し：900千件/年	▲	
8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信										
74	県ホームページの改善	アクセシビリティ試験対象ページのJIS基準達成率	(2016年度)100%	(2018年度)100%	(2019年度)100%	(2020年度)100%	(2021年度)100%	100%	◎	知事直轄組織
		アクセシビリティ試験を実施するページ数	(2016年度)90頁	(2018年度)96頁	(2019年度)109頁	(2020年度)90頁	(2021年度)103頁	100頁	◎	
9 世界の人々との交流の拡大										
76	外国人が無料で利用できるWi-Fi整備の促進	Wi-Fi環境が整備される観光地域づくり整備計画数	(2016年度)0か所	(2018年度)0か所	(2019年度)累計3か所 【年3か所】	(2020年度)累計5か所 【年2か所】	(2021年度)累計5か所 【年0か所】	(2018～2021年度)累計50か所	▲	スポーツ・文化観光部
		-	-	-	-	-	-	-	-	

※2021年目標値の見直しが行われた場合は、その都度修正する。